

一般質問

市政への質問

一般質問は、市政に関わる市の考えを聞いたり、議員が政策を提案したりするものです。各議員の質問項目は下記のとおりです（質問順に掲載）。

<p>① 小櫃 市郎（清流クラブ）</p> <ol style="list-style-type: none"> 清流クラブ政策提言全般 合併後10年間の市民ニーズの検証 新市まちづくり計画の検証 総合振興計画に基づく将来像 	<p>⑥ 斎藤 捷栄（日本共産党秩父市議会議員団）</p> <ol style="list-style-type: none"> 秩父市の消防 秩父市における生活保護実態 選挙権年齢の引き下げ 	<p>⑪ 大久保 進（公明党）</p> <ol style="list-style-type: none"> 子育て応援アプリ 育成会の競技にペタンクを ゆるキャラグランプリの結果と課題
<p>② 新井重一郎（清流クラブ）</p> <ol style="list-style-type: none"> 秩父版CCRC構想の内容と取り組み プロフェッショナル人材の移住勧誘 子育て世代のU、Iターン支援 	<p>⑦ 清野 和彦</p> <ol style="list-style-type: none"> 気候変動・地球温暖化対策 水循環・地下水湧水の調査、雨水の活用 無形文化財の継承、有形文化財の活用 災害など非常時への備え 	<p>⑫ 金崎 昌之</p> <ol style="list-style-type: none"> 学校・家庭・地域の連携力 町会支援制度の拡充を 防災行政無線放送の活用
<p>③ 赤岩 秀文（清流クラブ）</p> <ol style="list-style-type: none"> 道路環境の整備（市道影森140号線） 伝統芸能・文化継承（秩父夜祭） 市立病院中長期計画 久那小通学路安全対策 	<p>⑧ 出浦 章恵（日本共産党秩父市議会議員団）</p> <ol style="list-style-type: none"> 「あいサポート運動」協定締結後は 介護現場の現状は 教育行政 	<p>⑬ 五野上茂次（清流クラブ）</p> <ol style="list-style-type: none"> 医療・福祉・健康政策 教育・子育て・文化伝承政策 地域消防団の支援 要望書の現状、交通政策・道路施策
<p>④ 高野 宏（清流クラブ）</p> <ol style="list-style-type: none"> 清流クラブ政策提言 子育て政策 防犯・防災政策 町会の役割 市の広報事業 	<p>⑨ 浅海 忠（市民の会・絆）</p> <ol style="list-style-type: none"> 行財政改革と公共施設の再編整備 地元企業へのさらなる支援 住民ニーズに合った公共交通の見直し 	<p>⑭ 松澤 一雄（清流クラブ）</p> <ol style="list-style-type: none"> 公共施設ファシリティマネジメント対策 西武秩父駅周辺整備 地籍調査の推進 行財政改革の取り組み
<p>⑤ 黒澤 秀之（清流クラブ）</p> <ol style="list-style-type: none"> 地方創生に向けた林業振興 観光振興・おもてなしの強化 人材育成による行政サービス向上 生活再建型滞納整理 	<p>⑩ 江田 治雄（市民の会・絆）</p> <ol style="list-style-type: none"> ジオパーク秩父の今後の取り組み 仮称大滝瀧谷洞の保護 教育の充実 消防団活動への支援 他 	<p>⑮ 山中 進（日本共産党秩父市議会議員団）</p> <ol style="list-style-type: none"> 大滝地区の将来像は 子育て支援 介護保険制度の現状 市立病院の充実

※市議会ホームページのインターネット中継で、一般質問の様子をご覧いただけます。

清流クラブ政策提言全般



清流クラブ 小櫃 市郎

●合併後10年間の検証

問 清流クラブは、市民の生活環境の向上と市の健全な発展のため、多くの市民の声を聞き、広い地域の課題等を出し合い、市民の負託に応えるべく、会員全員で協議を重ね、政策立案し、会派を運営している。10月には、市民生活に直結した重要な政策、施策について、久喜市長に対し、清流クラブ政策提言を行った。

答 合併して市制を施行し10年が経過した。市民が合併して良かった、住んで良かったと感じられるまちづくりを推進するため「新市まちづくり計画」「第1次総合振興計画」が策定され、行政経営が進められてきたが、その成果を伺う。

「新市まちづくり計画」に主要施策として挙げられた、教育環境の整備、生活道路網の整備、保健、医療、福祉サービス体制の整備は、ほとんどが実施、もしくは検討中で合併の成果は出ている。小中学校の耐震補強工事はほぼ完了し、幹線道路、生活道路、水道施設の整備も順次進めている。企業支援センター設置による雇用対策、地域包括ケアシステムの構築

による福祉サービスの充実等ソフト面でも成果をあげている。合併効果が特定の地域に偏ることなく新市全体に及んだと考える。

問 「第2次総合振興計画」は、市の将来目標や政策の基本方針を定めた市の最上位計画であり、市が策定する様々な計画の基本となるものである。今後10年先まで見据えた行財政運営について伺う。

答 将来都市像を「豊かなまち、環境文化都市ちちぶ」とし、誰もが安心して暮らし続けるまちづくりを進める。



「総合振興計画」と「新市まちづくり計画」

秩父版 創生戦略と人口ビジョン



清流クラブ
あらいしげのり
新井重一郎

問 国は、各自治体に地方創生戦略を策定し、来年三月までに提出することを求めている。中心課題はいかにして人口減少に歯止めをかけるかである。地方への流れをつくるための秩父版C R C R構想の内容と取り組みは。

答 この構想の本市の特徴は姉妹都市である豊島区の元気な高齢者を主な対象としていること。更に、特別老人ホームの区外設置や、職を持たない若者などの就労・社会参加を自治体間の連携により促進することの検討も進めている。但し、市内の空き家を利用するのか、広い土地に住宅を建てて「豊島村」を作るのか具体的な取り組みには至っていない。

問 プロフェッショナル人材の移住を勧めるために、市内各企業が必要とする具体的専門職種、人数等を企業名と合わせてリスト化し、市のホームページ等に掲載したらどうか。

答 このような取り組みに対する企業側のニーズ、リストの活用方法や有効な周知方法などについて、秩父地域雇用対策協議会、市の雇用創造協議会、ハローワーク秩父

等の関係機関と連携し、検討する。

問 子育て世代のU、イターン支援を充実し、この世代の移住を勧誘する方策は検討されているか。

答 先行型交付金を活用し、第3子以降かつ6歳未満の児童の保育料を軽減し、多子世帯を支援することから、0〜2歳児は全額免除となることから、若い世代の呼び込みが期待できる。



昨年度、移住希望者説明会のパンフレット

- ◎ 空き家改修による貸しオフィス
- ◎ 学力テスト結果とその後を取組
- ◎ 移住希望者へ農地付き住宅斡旋

清流クラブ政策提言より



清流クラブ
あかいわ
赤岩 秀文

● 久那小通学路の安全対策

問 久那小学校の通学路は歩道がなく、交通量が多いため危険である。地元町会有志の安全パトロール隊による児童の見守りが行われているが、根本的な解決には至っていない。市の考えは。

答 県道72号線の歩道整備については、県が久那公民館前から秩父ミューズパーク入口の信号までの区間、順次実施している。現在は、未整備区間の折区付近から用地交渉を進めている。久那公民館から平田公会堂付近の未整備区間の具体的な計画は未策定。県で大型車の通行を抑制する看板を設置しているが、朝晩の交通量が多く、車両が児童のすぐ脇を通過し、危険な状況であることから、市としても県へ事業の推進をお願いしながら協力していきたい。

● 伝統芸能・文化継承施策

問 秩父祭のユネスコ無形文化遺産登録へのスケジュールは。

答 28年11月頃のユネスコ政府間委員会審議後登録の予定。

問 登録後の祭観光における、対策は考えているか(トイレ、観覧

場所、パンフレットなど)。

答 トイレについては外国人観光客の増加も踏まえ洋式化を検討する。一部水洗化できているトイレを増設できるか検討し、芝桜の丘を参考にトイレの環境整備に努める。パンフレットについては、ユネスコ登録の表記に加え、笠鉦・屋台が間近で見られる場所と時間、火花が観覧しやすいスポット等の紹介を盛り込む。



降雪時さらに狭くなる通学路

- ◎ 観光有料トイレの導入検討
- ◎ 市立病院中長期計画の実現度
- ◎ 市道影森140号線

一般質問

清流クラブ政策提言より



清流クラブ 高野 宏
たかの ひろし

●子育て政策

問 病中病後児保育への対応は。

答 市としても重要な子育て支援であると同認識しているが、当面計画上の施設確保は見込めない状況である。今後とも実施に向けて検討していく。

問 保育施設の充実については。

答 「秩父市立保育所再編計画」に基づき、児童福祉審議会に、吉田保育所と吉田幼稚園の認定子ども園化を提案し、協議をスタートしている。今後保護者と吉田地域の意見を聴き、検討を進めていく。原谷保育所は、28年度末閉所の予定で、保護者や地元町会への説明も行っている。また、受け皿となる、仮称「わどろの森保育園」は、28年度当初より、0歳、1歳児クラスを含め定員60名で運営開始予定である。

●防犯・防災政策

問 子どもを犯罪から守るための環境の整備、高齢者を狙う振り込め詐欺等への市の対策は。

答 子どもや高齢者などの、弱者を犯罪から守るには、地域住民の見守り体制の整備が重要と考え、

- ◎町会の役割
- ◎敬老会アンケート
- ◎秩父ケーブルテレビ
- ◎地域ICT導入



平成29年3月閉所となる原谷保育所

防犯パトロール、地域安全点検等実施している。詐欺対策は、警察や消費生活センターと連携し、撲滅キャンペーンを展開している。また、防犯情報については、熊谷市での連続殺人事件を踏まえ、警察との連携を密にするとともに、市としても、警察からの情報はもとより、独自の判断により、積極的に情報を発信していく。

地方創生に向け

縦割り行政を問う



清流クラブ 黒澤 秀之
くろさわ ひでゆき

地方創生を推し進める手段として、行政の横の連携が極めて重要となる。俗にいう縦割り行政を打破する方策を各政策について問う。

問 地方創生に向けた林業振興

答 林業振興におけるこれまでの取り組みと「ものづくり大学」との協定の現状は。

問 ちちぶ定住自立圏森林整備・活用に関する行動指針等において、秩父広域における林業振興を更に推し進める。ものづくり大学との協定における秩父産材のブランド化を今後も積極的に進めていく。

答 ちちぶ定住自立圏森林整備・活用に関する行動指針等において、秩父広域における林業振興を更に推し進める。ものづくり大学との協定における秩父産材のブランド化を今後も積極的に進めていく。

●観光振興・おもてなしの強化

問 秩父を訪れた方々が「秩父を愛するイメージ」を持つことが非常に重要となる。観光と直接の関係がない各種事務事業において、「おもてなし」の強化策は。

答 観光・おもてなしの観点で、各事務事業が秩父の良好なイメージを持てるような施策を各部署において、誠意対応していく。

●行政職員の人材育成による行政サービス向上



【秩父の観光資源】 秩父ミュージアムパークから望む 秩父の雲海

●生活再建型滞納整理

問 生活相談等から寄せられる市民情報を元に、市民の生活再建を基軸とした債務整理は可能なのか。

答 個人情報保護法との関係も視野に入れ、誠意対応していく。

問 地方創生は、総合的な行政力にも大いに左右される。行政職員人材育成の観点で市の取り組みは。

答 秩父市が今後も持続的に発展するため、職員の意識改革は重要であるとの認識のもと、新庁舎建設に伴う機構改革も視野に入れ、人材育成に積極的に対応していく。